

埼玉経済同友会 産業交流部会「会員企業視察会」行程表

令和8年12月4日(金)

12:50	集合・出発	熊谷駅南口ロータリー
	↓ (貸切バス)	
13:20	到着・視察	太平洋セメント(株)熊谷工場
15:00	移動	
	↓ (貸切バス)	
15:20	到着・視察	(株)シタラ興産レガリア
17:00	懇親会	(株)シタラ興産レガリア内ラウンジ
18:30	移動	
	↓ (貸切バス)	
19:00	到着・解散	熊谷駅南口ロータリー

太平洋セメント(株)熊谷工場

太平洋セメント株式会社は国内トップシェアを誇るセメント製造・販売業。熊谷工場は昭和34年に建設され昭和37年に操業を開始、関東最大級の規模を誇り、年間約200万トンの生産能力を持つ。原料となる石灰石は群馬県の叶山鉱山と秩父市の武甲山から、地下ベルトコンベアや秩父鉄道を活用して毎日安定的に受け入れている。熊谷工場ではサーキュラーエコノミーに取り組んでおり、県内で排出されるごみの焼却灰などをセメントの原料に再資源化している。その量は、県内で排出されるごみ焼却灰の約40パーセントにものぼり、大きな社会的役割を担っている。



(株)シタラ興産レガリア

株式会社シタラ興産は昭和52年設立の廃棄物処理・リサイクル業。同社のサンライズFUKAYA工場はフィンランド製の産廃自動選別ロボットを国内で初めて導入したことで知られている。レガリアは総事業費約122億円をかけ令和9年2月に稼働予定の埼玉県下最大級の民間焼却施設。鉄骨造7階建てで焼却炉1基、蒸気タービン1基を備える。1日当たりの処理能力は焼却施設が約230トン、破碎施設が約4712トン。焼却時に発生する排熱を使い施設内の全電力をまかなう“サーマルリサイクル”機能を備える。

